



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月12日

上場会社名 株式会社カイテクノロジー 上場取引所 東  
 コード番号 5581 URL https://chitech.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)勝屋 嘉恭  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)伊地知 高之 (TEL)03(6273)0408 (代表)  
 四半期発行情報提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期 第1四半期の業績 (2023年9月1日~2023年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	919	—	15	—	34	—	22	—
2023年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	5.41	5.35
2023年8月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2023年8月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。  
 2. 2023年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの、当社株式は当該会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	2,020	660	32.7
2023年8月期	1,779	650	36.5

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 660百万円 2023年8月期 650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2024年8月期	—				
2024年8月期(予想)		0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の業績予想 (2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,852	2.1	49	△31.9	40	△27.3	26	△31.6	6.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期1Q	4,200,000株	2023年8月期	4,200,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	一株	2023年8月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期1Q	4,200,000株	2023年8月期1Q	4,200,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2023年9月1日から2023年11月30日まで)における我が国経済は、新型コロナウイルスに関する行動制限が緩和されたことや、海外の経済回復を背景とする需要増により段階的に輸出が増加するなど回復の動きが見られました。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う国際的緊張や食料、エネルギー価格の高騰に伴う世界的な物価の上昇等により、日本経済の先行きは不透明となっています。

経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査2023年10月分確報」によると、情報サービス業の売上高は1,208,422百万円となり前年同月比3.2%増、うち受注ソフトウェアの売上高は685,809百万円で前年同期比9.3%増となり順調に推移しています。

企業や行政などにおけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)領域への投資は拡大しており、この潮流を成長の機会と捉え、当社は「プラスαで快適(カイト)な明日へ」というコーポレートミッションを掲げ、その実現のために「採用促進と教育体制の充実」、「IT人材育成サイクル」、「自社プロダクトの強化」の3つの基本方針を軸とした中期経営計画を推進しております。

「採用促進と教育体制の充実」については、第二新卒を含む若手社員の積極採用と、キャリアプラン支援、資格取得奨励制度の充実を進めています。

「IT人材育成サイクル」については、外部案件と自社プロダクト開発参画との社内異動・交流のサイクルを作ることで技術力、開発力の強化を図ってまいります。

「自社プロダクトの強化」については、営業・マーケティングの強化、電子カルテ等の他社システムとの連携拡大による商品力の強化を行っております。

業界環境は好調な一方で、エンジニアの確保は大きな課題となっております。IT人材の確保難を発端とした受注機会の逸失や、エンジニアの育成環境に業績が大きく左右される状況となっており、人事評価制度のリニューアルや資格取得制度の拡充に加え、社内メンター制度の運用などによる社員のエンゲージメントの強化に注力しております。

パッケージソフト販売においては、クラウド型サービス提供への移行を進めつつも、特に主要顧客である医療機関では個別のカスタマイズ要求が多く、またシステム要件等から従来型のインストール型サービスのニーズも根強いことから、顧客別対応の増加による導入時期の見直しなどの影響も出ております。

このような状況下において、当社の当第1四半期累計期間につきましては、売上高919,705千円、営業利益15,839千円、経常利益34,220千円、四半期純利益22,728千円となりました。

なお、当第1四半期累計期間は第1四半期財務諸表の作成初年度であるため、前年同期実績との比較は行っておりません。

当社はIT関連サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりますがサービス別の概況は、次のとおりであります。

システム開発サービス(SES・人材派遣)においては、若手技術者の稼働率が上がったことから、売上高は637,201千円となりました。

受託開発サービスにおいては、パッケージ販売サービスの顧客導入を円滑に進めるための支援に技術者を振り向けたこと等により新規受注のためのリソースが減少したことにより、売上高は180,988千円となりました。

パッケージ販売サービスにおいては、新規顧客の拡大と併せてインストール版からWEB版へのリプレイス需要の取り込みを進めましたが、顧客への浸透を図ることに手間取り売上高は101,516千円に留まりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ257,725千円増加し、1,785,948千円となりました。これは主に営業活動及び資金調達の結果、現金及び預金が308,352千円、仕掛品が14,072千円、それぞれ増加した一方で、受取手形・売掛金及び契約資産が76,625千円減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べ16,957千円減少し、234,329千円となりました。これは主にのれんが償却により7,740千円、繰延税金資産が7,921千円それぞれ減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ69,204千円増加し、703,099千円となりました。これは主に賞与引当金が40,982千円、1年以内償還社債が60,000千円増加した一方で、契約負債が5,847千円、1年以内返済長期借入金が5,938千円、その他(未払金等)が18,603千円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べ161,434千円増加し、656,826千円となりました。これは主に社債が193,500千円増加した一方で、長期借入金が23,574千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ10,128千円増加し、660,351千円となりました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金の増加22,728千円があった一方で、配当の支払いによる利益剰余金の減少12,600千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、2023年10月13日に公表いたしました「2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」から変更はありません。なお、本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	996,782	1,305,135
受取手形、売掛金及び契約資産	446,511	369,885
商品及び製品	4,424	3,942
仕掛品	31,068	45,141
貯蔵品	2,931	2,089
その他	47,492	60,401
貸倒引当金	△989	△648
流動資産合計	1,528,222	1,785,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	90,013	90,013
減価償却累計額	△24,297	△26,547
建物及び構築物(純額)	65,716	63,465
工具、器具及び備品	27,618	27,618
減価償却累計額	△15,390	△16,084
工具、器具及び備品(純額)	12,227	11,533
有形固定資産合計	77,944	74,999
無形固定資産		
のれん	18,076	10,335
その他	8,050	9,776
無形固定資産合計	26,126	20,112
投資その他の資産		
繰延税金資産	72,572	64,651
その他	74,644	74,566
投資その他の資産合計	147,216	139,217
固定資産合計	251,287	234,329
資産合計	1,779,509	2,020,277

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	119,154	115,985
契約負債	67,219	61,371
賞与引当金	86,614	127,597
未払法人税等	425	2,204
1年以内償還社債	93,000	153,000
1年以内返済長期借入金	110,270	104,332
その他	157,211	138,608
流動負債合計	633,894	703,099
固定負債		
社債	249,000	442,500
長期借入金	168,537	144,963
資産除去債務	48,108	48,113
その他	29,746	21,250
固定負債合計	495,391	656,826
負債合計	1,129,286	1,359,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,200	28,200
資本剰余金	132,772	132,772
利益剰余金	489,250	499,379
株主資本合計	650,223	660,351
純資産合計	650,223	660,351
負債純資産合計	1,779,509	2,020,277

(2) 四半期損益計算書  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	919,705
売上原価	691,106
売上総利益	228,599
販売費及び一般管理費	212,759
営業利益	15,839
営業外収益	
受取利息	5
助成金収入	2,576
雑収入	60
匿名組合投資利益	22,264
営業外収益合計	24,907
営業外費用	
支払利息	566
社債利息	940
社債発行費	5,018
営業外費用合計	6,525
経常利益	34,220
税引前四半期純利益	34,220
法人税、住民税及び事業税	3,570
法人税等調整額	7,921
法人税等合計	11,491
四半期純利益	22,728



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。